

(株)デベロップ様との「東武伊勢崎線川俣駅西口 ホテル温浴複合施設進出協定」締結式

3月16日、株式会社デベロップ（本社：千葉県市川市 代表取締役 岡村健史様）の「HOTEL R9」の川俣駅西口への進出決定を受け「東武伊勢崎線川俣駅西口ホテル温浴複合施設進出協定調印式」を行いました。



【(株)デベロップ岡村社長（中央）、まちづくり会社小野社長（右）】

調印式は、(株)デベロップ様、明和町及び明和町や民間企業が出資したまちづくり会社「(株)邑楽館林まちづくり」の三者

により執り行いました。この調印式で、現在進めている東武伊勢崎線川俣駅周辺の整備事業の核となるひとつとして、駅西口に新設するホテル温浴複合施設の整備計画の詳細を発表しました。

ホテル運営事業などを手掛ける(株)デベロッパ様がホテル温浴複合施設を建設、運営する計画で、2022年秋着工、2023年中の開業を目指します。



【進出するホテルイメージ図】

ホテルは5階建てで、延べ床面積約5500平方メートルです。3～5階に客室約100部屋を設け、町内の工業団地

や近隣の館林市、埼玉県羽生市などに商談で訪れるビジネスマンらの長期滞在者を中心にターゲットとして想定しています。1階に大浴場を設け、(株)邑楽館林まちづくりが掘削した天然温泉「明和温泉 川俣の湯」を提供する予定です。

温浴施設は、宿泊客に加えて日帰り入浴客も利用できる施設としていきます。

2階にはレストランや会議室を設け、災害発生時に一部を避難場所として活用できるよう、町がホテル側に要請し、約720平方メートルを確保します。町は「災害時拠点強靱化緊急促進事業補助金」として9,200万円を新年度一般会計当初予算に盛り込み、この避難場所の確保に加えて非常用電源と水源の整備も要請し、必要な助成をしていきます。また、(株)デベロップ様には災害時の状況に応じ、ホテルの客室も開放して避難者の受け入れに協力していただき、施設全体で約1,000人を収容できる避難場所が確保されることとなります。

調印式で、(株)デベロップの岡村社長は「ビジネス需要と周辺環境が決め手になった。地域防災を含め町と一体でプロジ

ェクトを進めたい」とお話しいただき、町としても「町を訪れる多くの人利用が想定され賑わい、また、災害時には駅東口の施設と駅舎とペDESTリアンデッキで繋がることにより、巨大な避難施設にもなると期待しています」と伝えました。

ホテルは今後、町から用地を取得して整備を開始します。施設の建設予定地と合わせ、その北側に駐車場用地も取得し約80～100台の駐車場を設け、町は駅とペDESTリアンデッキで繋いで利便性を高め、駅東口の昨秋開業した「明和メディカルセンタービル」と、宿泊付きの人間ドックや災害時の医療提供など駅を拠点としたシナジー効果を期待した施設連携を図っていきます。

(株)デベロップ様は「HOTEL R9」という移動式コンテナホテルを全国に70箇所も展開し、また、ビル型ホテルも3箇所運営している会社です。昨年2月3日に当町と「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」を締結いただいた会社が(株)デベロップ様で、その際に岡村社長とのお話の中で、駅前ホテルについてご検討をお願いした結果、今

回の進出の約束をいただきました。



【2021年2月3日の協定式の模様】

明和町は、都市計画法上の水害危険区域に令和4年4月1日より指定されて避難施設等を増やさなければ、市街化調整区域内での開発(分家住宅や大規模集落等)が不可となっていきます。今までできたものができないとなると、まちづくりに大きな支障を来します。今回の進出で駅西側にもペデストリアンデッキ(高台歩道)を作り、ホテルと駅本体と病院・土地開発公社会議室が高所移動でき、水害時には巨大な避難施設として活用できるようになります。正に、宿泊温浴施設と

病院と会議室・保健センターが一体となって、町民の健康と身体の安全を支える施設となります。

昨年2月3日の時点で、明和町で展開している事業の中で(株)デベロップ様のお力をお借りできる事業が多々あるもの
と思い、岡村社長の力強いリーダーシップと幅広い知識と経験に魅力を感じ、私の直感では末永いお付き合いになりそうな気がしておりました。今回、この進出協定調印式が行われたことを嬉しく思います。

そして、川俣駅西口に進出していただく「HOTEL R9」のベッドは、ウェスティンホテル東京や帝国ホテルなどの高級ホテルで使用されている、「シモンズベッド」を採用されています。世界の中でも超一流のベッドとの評判で「寝心地はまるで空に浮いているよう」と絶賛する人も多いと伺っています。きっと川俣駅西口の「HOTEL R9」のホテルも多くの方々に絶賛されることと期待しています。

また、現在、西口には温泉掘削も済んでおり、温泉を利用した温浴施設にも期待が高まっています。

あらためて川俣駅西口に進出を決定いただきました岡村

社長をはじめ(株)デベロップの皆様方に敬意と感謝を申し上げますとともに、川俣駅西口の「HOTEL R9」の完成に大いにご期待申し上げます。

令和4年3月25日

明和町長 富塚もとすけ